新緑に輝く若芽を乗用摘採機で収穫する高梨さん

JAはだの

発行所
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711㈹
編集兼発行者 宮永 均

地域から必要とされるJAへ

通常総会で8議案成立

JAはだのは20日、秦野市文化会館大ホールで第53回通常総会を開いた。今後のJA運営を左右する最高意思決定の場には、多くの組合員が出席。上程した8つの議案全てが全会一致で可決され、成立した。（2、3面に関連記事）

山口政雄組合長は「地域から〝必要とされる〟JAはだの〟づくりを目指し、組合員の負託に応える運営に努めていく」とあいさつした。

その後、これまで協同組合運動に尽力した組合員、女性部に対し、表彰規定に基づき表彰、感謝状を贈った。議案審議では、今後のJA運営の方向性を決めるために上程した8議案を審議し、全会一致で可決。会場は満場の拍手に包まれた。

上程した8つの議案全てが可決された通常総会

今月の特集
4～5面

秦野は県内有数の花の産地

県内有数の花の産地である秦野市。市内の農家が丹精して育てた花は、母の日や父の日などで毎年好評。また、さまざまな品評会で高い評価を受けている。

メール情報配信サービス
QRコードで登録を

JAはだのは、携帯電話やパソコンなどのメールを利用した情報配信サービスを行っています。月2回のメールマガジンと、営農・じばさんず・セレモニーホールなどのさまざまな情報を発信しています。お問い合わせは組織教育課まで。☎81－7714

QRコードを読み取り、簡単な手続きを進めるだけで登録できます。

自慢の茶 上位入賞に期待

シャッターチャンス

果樹部会茶業部は4日、菩提の高梨茶園で8月に三重県で開かれる全国茶品評会へ出品する茶を収穫した。県の代表として、加工した荒茶を「普通煎茶機械摘み10㌔の部」に出品する。

部員ら約10人が参加し、寒冷紗（かんれいしゃ）の下で乗用摘採機を使って「やぶきた」約120㌔を収穫。刈り取った生葉は上荒茶工場に持ち込み、約21㌔の荒茶に加工した。

園主の高梨孝さんは「今年は芽のそろいやつやが良いので、上位入賞を目指したい」と意気込みを語った。

JAはだの独自の特別決議も採択

農協法改正が国会で決議されたことに加え、TPP（環太平洋連携協定）が大筋合意されるなど、農業やJAを取り巻く環境は年々厳しさを増している。

こうした状況を受け、総会ではJAグループながわ全体で進める「JA営農・経済改革の実践と都市農業振興に向けた特別決議」の他、全組合員が1日1品以上の農畜産物を食する旨などを明記したJAはだの独自の決議「JAはだの自己改革への挑戦に関する特別決議」を採択した。豊かな地域社会を目指し、組合員と役職員が一体となって協同組合運動に力を注いでいく。

JA綱領を唱和する組合員

総会日現在の組合員数	
正組合員	2971人
准組合員	11138人
総会に出席した組合員数	
正組合員	1794人
内訳	
本人	771人
代理人	21人
書面議決	1002人
准組合員	674人

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

推進へ地域一丸

JAはだのは、地域の子どもたちの「食」や「農」への関心を高めるため、秦野市内のこども園や小・中学校に野菜苗や生産資材を毎年提供している。栽培指導には地元農家らと連携。地域が一丸となって食農教育に力を注ぐ。

食農教育

園児に苗植え指導
西大竹の大庭さん

大庭さんに植え付けを教わる児童

西大竹の大庭正敏さんは9日、市立みなみがおか幼稚園で夏野菜の植え付け体験を指導した。年長クラスの園児50人が参加。植えた苗は、ミニトマト、キュウリ、ピーマン、ナスの4品目で、JAはだのが提供した。

大庭さんは、自身の畑から運んだ土に牛ふん堆肥を混ぜる作業を実演。園児はプランターに入れる土の量などを大庭さんから教わりながら苗を植えた。

大庭さんは「自ら育てることで収穫の喜びを感じ、好き嫌いがなくなる子もいる。栽培を通じ、たくさんのことを吸収してほしい」と期待を寄せる。

農園にサツマ定植
ちゃぐりんスクール64人

畝作りを実演する髙橋委員長

JAはだのは7日、本所で「ちゃぐりんスクール」の今年度のカリキュラムをスタートさせた。市内の小学3～6年生64人が参加。全7回のプログラムを通じ、秦野の農業や自然の素晴らしさを学んでいく。

初回のプログラムは、サツマイモの定植とプランター野菜教室。青年部の髙橋正宏委員長の協力の下、本所敷地内に「ちゃぐりん農園」を開園した。児童は、農機での畝作りやマルチ張りの実演を見学し、サツマイモの苗を植えた。

プランター野菜教室では、親と協力しながらプランターに培養土を入れ、ナスとサニーレタスを植え付けた。

大切に育ててね
苗や種を小中学校に提供

児童に野菜苗を手渡す職員

12、13の両日には、市内の学校農園を開いている小・中学校へ野菜苗を提供した。学校農園は、1980年から市教育委員会を通じて開園を呼び掛け、現在、小学校13校、中学校6校が開園している。

各支所・支店の職員がサツマイモの苗約4300本やナス、トマトなどの苗約950ポットの他、落花生や小松菜の種子などを仕分けた。その後、各学校に配布。市立末広小学校では、本町支所の職員が「大切に育ててね」と児童に声を掛けながら野菜苗を手渡した。

地域のリーダー養成
協同組合講座スタート

JAはだのが、組合員教育事業の一環として取り組む2016年度の「協同組合講座」が9日、本所でスタートした。協同組合の原点に立ち返り、幅広い視野に立った地域のリーダーを養成するのが狙い。

同講座は①准組合員を対象に、農業やJAの基礎を学ぶ「組合員基礎講座」②農政や生活文化などを幅広く学ぶ「組合員講座」③組合員講座修了者を対象に、専門的な知識を身に付ける「専修講座」――の3講座。今年度は合わせて138人が受講する。

受講生に励ましの言葉を送る山口組合長

山口政雄組合長はあいさつで「多くのことを学び、地域のリーダーとして活躍してほしい」と励ました。開講式終了後には、農林漁業団体職員共済組合（農林年金）の松岡公明理事長が「協同組合の〝かたち〟と〝こころ〟」と題して講演した。

地域活性化へ
意見交換
上支所で連営委員会

上支所運営委員会が16日、同支所会議室で開かれた。役職員、生産組合長、女性部員、青年部員、准組合員合わせて13人が出席。地域活性化に向け、積極的に意見を交わした。

委員長に選任された諸星一雄理事があいさつした後、各組織の活動内容を確認した。その後、同支所が中心となって実施している「お茶飲み交流会」や「上地区農園ハイク&収穫体験」などのイベントの課題点を共有。新たなイベントの実施についても意見を交換し、秋のグラウンドゴルフ大会を開催することにした。

あいさつする諸星理事

接近！おじゃします（328）

家族の喜ぶ顔が生きがい

栃窪の関野（せきの）　毅（たけし）さん（71）

「家族の喜ぶ顔が生きがい」と笑顔を見せる栃窪の関野毅さん。もともと岡山県で生まれ育ち、高校生の時に父の転勤により神奈川県に移住した。卒業後は県職員として、広報や土木、福祉など16部署でさまざまな業務を経験。42年間務め、退職後は両親から受け継いだ35㌃の圃場（ほじょう）で、農作業に日々励んでいる。

現在、ミカンや栗といった果樹に加え、スナップエンドウやソラマメなど年間約20品目を栽培。じばさんずに出荷する他、県内に住む息子の一家らに届けている。関野さんのモットーは、農薬をできる限り使わずに育てること。「家族の口に入るものなので最小限に抑えている。孫たちのおいしいという声も励みになっている」と笑顔で話す。

関野さんは、自治会長や地元神社の氏子総代の代表など、さまざまな組織の役員として地域に貢献。4月には、新たに栃窪生産組合の生産組合長に就任した。同地区では現在、ハクビシンやイノシシなどによる農産物への被害が多発し、農家らに不安が広がっている。「個々の対策で被害を減らすのはなかなか難しい。地域の課題解決に向けて自分にできることは精一杯やっていきたい」と意欲を燃やす。

関野さんは「役の任期を終えるまでは毎日忙しいが、孫たちと話すことが楽しみなので、励みにしながらこれからも頑張っていきたい」と意気込みを語った。

総会　自己改革の実現へ提言

第53回通常総会では、8議案について組合員の皆さまから多くの質問や意見・要望が挙がりました。会場に集まった組合員を代表して、積極的に発言した4人の意見・要望ならびにJAはだのの回答（要旨）を紹介します。

女性部員増に協力を

女性部 小泉 裕子（こいずみ ゆうこ）氏

小泉氏　JAはだのの女性部では「JAはだのが挑戦する農・協改革に積極的に参加・参画します」という、2016年度の活動計画を掲げ、地産地消を進めるため、今年度も第7回大豆プロジェクトを実施いたします。また、食農教育活動の「ふるさと料理教室」では、次世代へ手作りの温かさやおいしさを伝承する取り組みなど、さまざまな活動を行っています。

しかしながら、女性部員も高齢化が進み、部員が減少しており、昨年度、1000人の目標に対し973人にとどまりました。部員の減少は、組織の弱体化に結び付き、活動も縮小してしまう恐れがあります。そのため、女性部では年2回の仲間づくり運動に取り組み、本部役員が中心となり声掛けを行っていますが、なかなか思うようにはいきません。

女性組織活性化に向けた取り組みを行い充実した魅力ある活動ができるよう、JAとしてもさまざまな機会を捉えて、女性部への活動加入を呼び掛けていただき、部員増加が図れるよう協力をお願いしたいと思います。

村上常務　女性部の皆さまには、日頃より健康と福祉の活動や生活文化活動など、さまざまな活動計画を掲げ、JA運動の一翼を常に担っていただいておりますこと、厚くお礼を申し上げます。

食農教育活動においては、市内の幼稚園や小学校の親を対象に、積極的に「ふるさと料理教室」を開催し、奏野に古くから伝わる伝統料理や食文化を手作りで受け継いでもらうという、素晴らしい活動に取り組んでいただいておりますこと、JAとしましても心から共感し、本当にありがたく思っております。

そうした中、部員の高齢化の問題は、JAとしましても組合員全体の問題として認識しており、組合員後継者対策や次世代へのスムーズな継承対策などは、喫緊の課題として捉えているところであります。JAの各分野における次世代対策と連携を持たせるなど、工夫をして取り組んでいきたいと考えております。

また、ご指摘の仲間づくり運動についても、しっかり対応していかなければならないと考えております。お互いに知恵を出し合い、女性部の仲間が自然と増えるよう、さらに魅力的な組織になるよう努めていきます。JAとしましても、多くの女性部の魅力をさらに情報発信していくとともに、活動についてもしっかりサポートしていきたいと考えております。お互いに、協力し合って頑張りましょう。

小泉氏　ありがとうございます。ここにご来場の組合員の皆さん、それから、家で待っているご家族の皆さん。まだ女性部に加入されていらっしゃらない方がいましたら、ぜひご加入をよろしくお願いします。食と農の活動を大切にしながら、活気ある活動をご一緒にしていきましょう。

地域農業の支援者拡大に向けて

青年部 髙橋（たかはし） 正宏（まさひろ）氏

髙橋氏　JAはだのは、第二次地域農業振興計画の達成に向け「営農経済改革」を策定し、取り組みがスタートしたということで、青年部としても期待しているところです。

この営農経済改革に関して、総会資料にそれぞれの具体策が記されています。

この中で、「1. 営農指導事業強化に向けた具体策の④地域農業の理解醸成と観光農業の振興」とあります。

これは、青年部が20年後の目指すべき農業の姿を描き策定したポリシーブックにも同様の項目があり、部員の中から希望者を募り、ユースマルシェを立ち上げ、対面販売による消費者・地域住民への理解促進活動や販路の一つとして観光農業への取り組みを始めています。

こうした取り組みが、JAの営農経済改革にも明記されたということはJAとしても本気で取り組んでいく決意だと感じています。資料にも「地域農業の支援者の拡大と認知度の深化、観光農業の振興」と説明がありますが、平成28年度計画とどのような形でリンクし、具体的にどのように取り組んでいくのかお聞かせください。

宮永専務　青年部盟友の皆さんの日頃の自主活動からいろいろな面でご尽力いただき、これに対し敬意を表します。

営農経済改革の中で営農指導事業の強化に向けた具体策として掲げた、地域農業の理解醸成と観光農業振興をどう図るかということについて、JAはだのは、JAグループが目指す「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」として、地域農業と地域社会の双方に貢献する組織づくりを目指して取り組んでおります。

まず、地域農業の理解醸成では、農業生産というなら、生活にとっての潤いや豊かさに直結する農業や農地の多面的機能をアピールしたいと考えます。

具体的には「JAはだのみんなで地産地消運動」に取り組み、地域ぐるみでさらに「地産地消」を加速させようとするものです。内容については本日の特別決議で上程します。

また、地域農業の支援者拡大では、「はだの都市農業支援センター」を拠点に、「はだの市民農業塾・新規就農コース」を継続的に運営していきます。農家世帯の後継者の方や新規就農または定年帰農を含めて、新たな

（3面に続く）

第53回通常総会あいさつ（要旨）

自己改革を実践

秦野市農業協同組合 代表理事組合長 山口（やまぐち） 政雄（まさお）

2015年度の日本経済は、一時は緩やかな回復基調にありましたが、日銀のマイナス金利政策導入以降、景気回復に向けた動きは強弱入り混じる足踏み状態となり、不安定な一年となりました。

農業を取り巻く環境では、農協法改正が国会で決議され、農業所得の増大に最大限の配慮をしなければならないことを基本とした「農協改革」の取り組みが課せられました。これに対して、JAはだのでは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けた具体策を検討し、全力で自己改革に取り組み、組合員の期待に応えていくことを決めました。

また、TPPの大筋合意は、日本の農業にとって大きな不安を与えることとなり、JAグループで運動してきた国会決議を順守するよう引き続き粘り強く運動を展開していく必要があります。このような厳しい情勢の中、JAはだのでは、これまでの実践課題を踏まえ、さらなる農業振興と振興と産地づくりの躍進に向けてのさらなる充実拡大に取り組んでまいりました。

組織運営では、女性や農業後継者等の正組合員加入を促進し、組織の基盤強化を行いました。また、組合員基礎組織の活性化や、組合員と地域住民の絆をより深めるために支所支店を拠点とした協同活動の実践に向けて検討を進めてまいりました。

営農指導事業では、「第二次地域農業振興計画」の目標達成を加速化させるために、「JAはだの営農経済改革」を策定しました。また、地域の特性を生かした品目の生産態勢の充実強化により、経営の健全性と信頼性の向上に努めてまいりました。

経営管理では、「農協改革」への取り組みを明確化した第四次中期経営計画を策定しました。また、信頼されるJAづくりのため、健全な財務基盤の構築、コンプライアンスの健全性と信頼性の向上に努めてまいりました。

こうした中、「はだのじばさんず」を地産地消の拠点として、出荷者と共に消費者へのイベントを実施して利用拡大に努めた結果、昨年4月に開店以来の来店者が延べ600万人を超えることができました。

今後も、基本理念である「夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域できずく」の実現を目指し、協同組合運動を展開してまいります。

今後も、地域農業と地域社会の活性化に貢献し、組合員から、また地域から「必要とされるJAはだの」づくりを目指し、組合員の負託に応える運営に努めてまいります。

さらに、今回の特別決議にも挙げさせていただいておりますが、全ての組合員と役職員が一丸となって地産地消運動に取り組み、JAはだの自己改革を実践してまいります。

最後に、組合員の皆さまの「JAはだの」への一層の結集とご協力をお願い申し上げ、総会開催にあたってのあいさつとさせていただきます。

文芸の窓

〈俳句〉（酒井　敏光　選）

新緑や建立祝いて里豊か　芦川　松江（八沢）

評　何の建立は分からないが、村において大事な物なのであろう。里が豊かであるからこその建立なのだ。豊かさを慶び合いたい

揚げひばり塩谷の沖の油槽船　松枝（渋沢）

評　ひばりの天から渺渺たる塩谷の沖という大きな景色が浮かび出て心地良い

苦も楽も去りて母の日以下余白　酒井　紗恵（桜町）

手のひらのしっとり濡れて夏近し　柴崎　和子（渋沢）

未だ身に付かぬスーツや風光る　高橋　順子（大秦町）

夷然たり前山近く五月来ぬ　柳川　みち子（栄町）

夏近し石と向き合ふ一夜城　佐藤　英美子（南矢名）

潮鳴りに逸るこころや夏の海　森高　由子（渋沢）

夏近し坂の途中でめがねふく　高島　美和子（名古木）

生きている事の可笑しさ羽抜鳥　選者

〈短歌〉（久保寺　富男　選）

一日の話題あつめて群がりし雀やいずこ竹藪切られて　今井　かめ（羽根）

評　夕刻になるとそれぞれの話題をしゃべりあっているように賑やかであった竹群の雀たち、竹藪が切り払われて今はどうしているのだろうか、と小さな鳥たちに思いを馳せている。作者の優しさがよく表現されています。

白き雨の降りかかること木香ばらは大王松のたかみより垂るる　細田　富士（千村）

無人なる隣家の庭の下刈上　八木　実（鶴巻北）

カラスの豌豆は自在にのびて　八木　よし（阜月石楠花満開となりて）

窓開けば入りくる風の心地よし　小泉トシ子（清水町）

農協のノンチャン号の復活が話題となりぬ座談会の夕べ　伊東　久（渋沢）

高齢の親二人おきて他界せし娘よ泣き泣き作る枕団子を　片倉ウメ子（堀西）

老々介護のはて手にかけし八十二歳とぞ切なしテレビは知事のカネ使いを告ぐ　選者

今月の理事会

5月17日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

▽2016年度春の座談会意見・要望の対応について

▽2015年度決算監査「改善を要する事項」に対する顛末報告について

▽JAはだの自己改革への挑戦に関する全組合員運動の実施および特別決議提案について

▽農産物検査業務規程の一部改正について

▽農業倉庫業務規程の廃止および保管事業規程の設定について

▽貸出金条件変更の申し込みについて

▽2015年度出資配当金・事業分量配当金の支払いについて

▽2015年度業務報告書および連結業務報告書について

歌と演奏で心を癒やす

音楽バンド「竹とんぼ」

JAデイサービスセンターはだのでのイベントやボランティア活動を紹介します。

◇

ボランティアグループ「楽しいよデイサービス」の音楽バンド「竹とんぼ」は、利用者の方々の身体・精神的により良い状態への回復を目指し、5人で活動しています。利用者の方々の心を癒やせるよう、昔懐かしい音楽を演奏し、曲に合わせて歌ってもらっています。

「高齢者の方々がデイサービスで楽しく過ごす手伝いをしたい」と2004年から協力しています。

利用者の皆さんが喜んでくれることがやりがいです。できるだけ長く活動を続けていきたいと思います。

◇

お問い合わせは、JAデイサービスセンターはだのまで。☎81－5177

6月の女性部行事予定

2日(木)ふるさと料理教室
（本町幼稚園）
9：30～本町公民館

3日(金)フレッシュミセスのつどい
9：30～団地2階・調理実習室

〃　県女性協役員会
10：00～JAグループ神奈川ビル

〃　乳がん子宮がん検診
（大根・南）
14：00～JA健康管理センターあつぎ

7日(火)球技大会代表者会議
10：00～団地2階・研修室

〃　女性部本部役員会
13：30～団地2階・研修室

13日(月)西支部「シルク・ド・ソレイユ観賞」
9：00～東京都

〃　ボルケットボール審判講習会
19：00～東中学校体育館

14日(火)女性部支部役員会（大根）
9：30～大根支所・会議室

〃　女性部支部役員会（本町・上）
13：30～各支所・会議室

15日(水)女性部支部役員会（東・南・西）
9：30～各支所・会議室

〃　女性部支部役員会（北）
13：00～北支所・会議室

〃　認知症サポーター研修会
終了後～北支所・会議室

16日(木)ままメートクラブ
10：00～百合の間

17日(金)4JAボルケットボール審判講習会
14：00～伊勢原総合体育館

〃　乳がん子宮がん検診
（本町・東）
14：00～JA健康管理センターあつぎ

20日(月)ふるさと料理教室
（しぶさわこども園うきうき体操クラブ）
9：30～渋沢公民館

〃　大豆プロジェクト豆まき
※雨天の場合は21日（火）
14：00～上大槻ほ場

22日(水)いきいきレディース交流会
（23日まで）
13：00～ニューウェルシティ湯河原

27日(月)西支部「お茶飲み交流会」
9：00～西支所・会議室

整備、仕業点検必ず

春の農作業安全運動

農業従事者の高齢化や女性従事者の増加により、農作業事故が増加傾向にあることから、JAはだのでは春期農作業安全運動に取り組んでいます。期間は6月30日（木）まで。

昨年度は市内で、28件の労災事故が発生しました。長期休業を必要とする事例としては作業中の転倒による打撲や骨折など、60歳以上の高齢者に多く見られます。農業機械を使用する前には、必ず整備や仕業点検をし、定期的に休息を取るなど事故防止に向けた取り組みをお願いします。

税務相談日　6月10日（金）午前9時30分～
法務相談日　6月20日（月）午後1時30分～
場所　JAはだの本所2階 組織教育課
☎81－7714
・予約制となっていますので、事前にお電話にてご予約をお願いします。
・受け付け順に相談時間が決まります。

結婚相談日
6月10日（金）
時間　午前9時～正午
場所　JAはだの本所 農業団地センター1階
お問い合わせ
組織教育課☎81－7714

秦野の農家ご飯

五目卵焼き

大根支部北矢名北部班　三竹芳枝

■材料（2人分）■

卵2個、煮物（糸昆布または長ひじき、切り干し大根、シイタケ、ニンジンなど、その他何でも代用できます）

A（牛乳大さじ1、砂糖小さじ1、油少々）

＜作り方＞

①煮物は5㍉程度に刻む

②溶いた卵に①とAを混ぜる

③フライパンを中火に熱して油をなじませてから、卵液を半分流す

④③を半分に折り、残りの卵液を流し、半円の厚焼き卵焼きを作る

⑤4等分に切って器に盛り付ける

＜ひとことアドバイス＞

卵焼きの具は、残り物を冷凍しておくと簡単に短時間でできます。煮物の代わりにキンピラゴボウなどを小さく刻んで入れてもおいしいです。

JAでは各支所・支店を目的に農業保管管理コンクール（詳細は6面告知板に掲載）を実施します。

住宅ローン 年金受給手続 休日相談会

●マイホームの新築・購入から、リフォーム・借り換えまで、資金のご相談を承っております。
●これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。

日時　5月29日(日)　6月19日(日)
会場　JAはだの本所 農業団地センター　ご来場の方に記念品を進呈
※時間は午前9時～午後4時までどなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。

それぞれ事前予約をされると便利です。
◆住宅ローンを相談される方は融資課に
◆年金受給手続きを相談される方は信用課に

JAはだの本所
秦野市平沢477
■融資課　☎81－7713　当日は0120-954-093
■信用課　☎81－7716　当日は0120-954-092

再生茶園は交流の場

昌蒲地区　地域住民が収穫楽しむ

茶摘みを楽しむ地域住民

上地区の荒廃農地から生まれ変わった茶園が、地域住民の交流の場として親しまれている。茶園を再生させたのは、地元農家らで組織する昌蒲集落組合と昌蒲地区農村景観保存会のメンバー。15日に両組織が企画した新茶摘みにはメンバーの他、地元長寿会の会員ら22人が参加した。

茶園は、国の「農地・水・環境保全向上対策事業」の一環で2009年に整備。翌年からは地域住民による茶摘みが始まり、今では長寿会の年中行事としても定着している。

参加者は畝ごとに分かれ、交流を深めながら新茶を摘み取った。収穫した70キロの生葉は加工し、参加者に配布した他、地域の神社や寺などにも寄贈する。

今後は、正月などの地域住民が集まる際に活用される予定だ。

水路清掃に一丸

組合員が水田環境整備

東生地区の合同組合

東地区の八幡・前原の両生産組合は8日、連携して水田用水路を整備した。組合員らが管理する水田に均等に水を行き渡らせるため、約30人が水路の清掃作業などに励んだ。

両生産組合による整備は、50年以上続いている取り組み。品質の高い米を地域全体で生産しようと、毎年協力して整備を進めてきた。現在は、組合員ら30人以上が水路を利用している。

水路からスコップで土をかき出す組合員

作業は、同地区を流れる金目川からの取水口や、水路の脇に生い茂った雑草を刈り取った。その後、スコップなどで水路にたまっていた土を撤去。かき出した土はトラックで水路周辺の農道まで運び、わだちを埋める作業に活用した。

花 FLOWER

秦野は名産地　自慢の品質 高評価

県内有数の花の産地である秦野市。市内の花き農家は、常に品質向上に力を注ぎ、花持ちが良く色鮮やかな花を生産している。丹精して育てた花は、母の日や父の日などのプレゼントとして好評を博している他、多くの品評会でも高い評価を受けている。

カーネーション

伝統の技術受け継ぐ

5月8日の「母の日」を前に、県内有数のカーネーションの産地、秦野市で出荷がピークを迎えた。

花き部会カーネーション部の部長を務める千村の小野孝允さんは、10アールほどのハウスで21品種を栽培。母の日に人気の赤系はもちろん、黄とピンクのグラデーションが特徴的な「オーロラ」など、色とりどりのカーネーションを手掛けている。

同市のカーネーションは1960年ごろ、190戸を超える農家が栽培していた。現在、後継者不足などを背景に農家は減少しているが、12戸が受け継がれてきた確かな技術で産地を支えている。

小野さんの作業場に並ぶ色とりどりのカーネーション

カーネーションを花台に装飾する部員

装飾で地場産をPR

花き部会カーネーション部の部員は母の日を前に、花を使った装飾を展示した。秦野産のカーネーションをPRしようと、毎年店内に飾り付け、来店者に喜ばれている。

展示作業には、同店に出荷する部員とその家族ら6人が参加。赤やピンクなどのカーネーションに加え、デルフィニウムなどを花台やプランターに飾り付けた。レザーファンなどの緑色もアクセントとして取り入れ、彩り豊かな装飾を完成させた。

村上清副部長は「多くの人に見てもらい、秦野のカーネーションの美しさを知ってほしい」と笑顔を見せた。

小野さんは「部員が作っているカーネーションはとても品質が高い。これからもみんなで力を合わせ、伝統を守っていきたい」と意気込みを語った。

バラ

出荷作業に励む石田さん夫妻

夫妻 力合わせ大臣賞

2月の神奈川県花き立毛共進会バラの部で、生産技術が評価され、24日に農林水産大臣賞を受賞した曽屋の石田勝博さん、京子さん夫妻。出荷するまでの品質管理を徹底し、市場や花屋から高い信頼を獲得している。

現在、20アールのハウスで全国的にも珍しい「オール4ハート+」や「カフェラテ」など8品種を栽培し、東京都と大阪府の市場に出荷する。

採花するタイミングを夫妻で定期的に確認し、品質にばらつきが出ないよう心掛ける。出荷時には、花弁や葉の傷の有無などを入念にチェック。バラの状態に常に注意を払い続ける。

工夫のアレンジ人気

バラのアレンジを作る和田さん

石田さん夫妻は「バラ作りにゴールはないので、これからも夫婦で究極のクオリティーを追求していきたい」と意気込みを語った。

市内のバラ農家の個性が出たフラワーアレンジメントが好評だ。柳川のバラ農家、和田さかえさんは20年ほど前から作り続け、今では固定客から誕生日などのプレゼント用としても毎年注文が入るほどの人気が定着している。

和田さんはアレンジを作る際に、飾るときに一番見栄えの良い状態になるよう、使用するバラを選択。すぐに飾る場合は八分咲きの花を、贈答用の場合は開き始めた花を使うなど、用途に合わせる。気温が高い時期や遠方に送るときは、花束より日持ちの良いアレンジを勧め、長く楽しんでもらえるようにこだわっている。

和田さんは「花を見ると気持ちが明るくなるので、そんな気持ちを一緒に届けたい。ぜひ父の日に贈ってもらえれば」と笑顔で話した。

見て頑張り屋さん No.397

木材選びはお任せを

戸川の小島木材㈱で働く小島瑞磨さん。大学を卒業後、システムエンジニアとして働いていたが、父の体調不良を機に退社。父が営む同店で、経営を引き継ぐ準備をしながら日々仕事に精を出している。

戸川の―小島（こじま）　瑞磨（みずまろ）さん（44）

――仕事の内容は？

新築物件はもちろん、リフォームに使う木材も販売・配達をしています。種類はヒノキや杉、ベイマツ、ホワイトウッドなどを主に扱っていますが、お客さんの希望を聞いたり大工さんと話をしたりして、条件に合ったものを販売しています。他にも、風呂やシステムキッチンなど家電製品の請負販売もしています。

――やりがいは？

お客さんに喜んでもらえたときです。お客さんと接することは少ないのですが、要望に近づけるよう、大工さんと図面をチェックしながら木材を選んでプランを立てます。実際に住宅が完成したときはうれしいです。

――仕事以外には？

以前、加入していた（公社）秦野青年会議所の仲間と月に1回、ゴルフに行っています。休みの日は、子どもと遊んだり旅行に行ったりして、家族と過ごす時間も大切にしています。

――今後は？

これからもお店を守り抜きながら、お客さんの要望にかなった木材を販売していきたいと思っています。他の木材店では売れないものも販売できたらと思っています。

本部役員が料理教室

女性部

そばの打ち方を確認する部員

女性部本部役員は11日、調理実習室で「ふるさと料理教室」の指導方法などを統一するための料理講習会を開いた。19人が参加し、「手打ちそば」と「おやき」のレシピを確認した。

手打ちそばは小泉裕子部長が手本を見せた後、3班に分かれて調理を開始。生地の固さによって水分量を調整することや、こねるときに足を前後に開くと力を入れやすいことなど、指導する際の注意点を確認しながら作業を進めた。

おやきはキャベツとタマネギ、ニンジンを部員手作りのみそで味付けした「野菜」、峠漬けを使った「漬物」、「落花生餡（あん）」の3種類を作った。

部員は「レシピの確認ができて良かった。注意点など、うまく指導していきたい」と話した。

組合員に募金を呼び掛ける部員

熊本地震被災者支援に募金活動

女性部は20日、JAはだの第53回通常総会会場で、熊本地震に対する募金を組合員に呼び掛けた。部員7人が参加。集まった募金は、県中央会を通じて熊本県の災害対策本部に送られる予定だ。

部員は「被災者支援にご協力ください」などと声を掛けながら寄付を募った。今後、同部は各支部などでも募金活動をしていく。

いきいき女性部活動

「オカリナやまびこ」

代表　坂口　好子

オカリナやまびこは会員13人、月3回本所の3階で中村先生と楽しく練習に励んでいます。JAデイサービスセンターはだのへ行き、利用者と一緒に歌ったり、手遊びをしたりして、大変喜ばれています。女性部活動への参加、お茶飲み交流会、また文化交流会発表など、オカリナの素朴な音色を伝えたくて、懐メロ、歌謡曲唱歌などいろいろな曲を練習しています。

練習した後のティータイムは、料理、野菜の育て方、孫の話など、話はつきません。時間の経つのも忘れておしゃべり。健康のためにと新しい会員も増えました。オカリナは、誰でも気軽に吹くことができます。興味のある方は、ぜひ練習を見に来てください。お待ちしています。9月に、本町公民館にて、オカリナ合同音楽会を開きますので、買い物かたがた見に来てください。

力加減を調節しながら打ち上げる参加者

楽しくプレー　ターゲットバードゴルフ大会

JAはだのは19日、市カルチャーパーク陸上競技場で「第6回ターゲットバードゴルフ大会」を開いた。組合員ら110人が参加した。

3、4人1組で18ホールを回り、バドミントンの羽を付けた専用のゴルフボールを使用、力加減や打ち上げる角度に注意しながらプレーし、打数の少なさを競った。

優勝は男性が平沢の豊田正弘さん、女性は平沢の豊田五月子さん。ホールインワン賞は豊田正弘さんと上今川町の栗原登さんが獲得した。高齢者上位に贈る「元気で賞」は最高齢の曲松の久保谷ヨシさんの他3人が受け取った。

ソラマメ収穫最盛

渋沢・峠地区

ソラマメの収穫に励む石原会長

渋沢の峠地区で、特産のソラマメの収穫が最盛を迎えている。初出荷となる19日には、地元農家らで構成する「峠ソラマメ出荷組合」が横浜丸中青果などに約450アール（1アール4キロ）を出荷。今年は6月5日までに、約8トンを出荷する予定だ。

同地区のソラマメ栽培は1955年ごろから続いている。「峠の一寸そら豆」の愛称で出荷し、市場関係者から「粒が大きく味が濃い」と毎年高い評価を受けている。

石原榮一会長は「共同出荷をしている以上は、組合全体で常に品質向上に努めていく。今後もみんなで協力しながら、伝統のソラマメを守っていきたい」と意欲を燃やしている。

長寿者に記念品贈呈

いきいきライフ支援事業

おめでとうございます。末永くお元気でお過ごしください。

88歳（米寿）

▽東地区＝桐生富枝（東田原）
▽南地区＝石井愛子（上今川町）、高橋伴蔵（西大竹）
▽北地区＝吉田久男（横野）、▽西地区＝村上シズ（堀山下）

77歳（喜寿）

▽大根地区＝高橋勝弥（北矢名）、原宏男（下大槻）、袖田和由（南矢名）
▽南地区＝多田利夫（西大竹）、石井節子（今泉）、北村久朗（尾尻）

※自己申告ですので、該当の方は各支所、支店までご連絡ください。

支部だより

北支部

ゴキブリ団子作り

10日、北支所でゴキブリ団子を作った。ゴキブリが発生しやすい夏場の衛生対策強化を目的に、13人が参加した。

部員は、すりおろしたタマネギにホウ酸などを混ぜ合わせ、卵のパックに高さ1センチほど入れた。混ぜ合わせた直後は柔らかいため、簡単に形を整えられる卵パックを利用した。自宅で1週間ほど天日干しにして完成させる。

ゴキブリ団子を卵パックに詰める部員

東支部

布を使ったネックレス作り

18日、東支所で布を使ったネックレス作りに挑戦した。部員9人が参加した。

部員は、プラスチック製のくるみボタンに布の端切れを巻きつけたものを14個作成。2個1セットをひもで挟むようにして縫い合わせた。「ストラップやのれんにも応用できる」と話しながら、ネックレスを完成させた。

特別決議

ＪＡ営農・経済改革の実践と都市農業振興に向けた特別決議

2016年４月、改正農協法が施行された。これに先立ち、ＪＡグループ神奈川は、昨年11月の第68回県農協大会において「ＪＡ営農・経済改革プランの実践を通じたかながわ農業の担い手の所得向上」に、グループを挙げ取り組むことを決議した。

加えて、都市農業振興基本法成立を受け、５月13日に閣議決定された都市農業振興基本計画では、「都市農業のための利用が継続される土地に関し、税制措置を適切に講じる」旨が示されているものの、具体的な施策内容は今後の検討課題とされている。

農業者の所得向上に向け、同プランの確実な実践を通じ、都市農業を振興するとともに実効性のある都市農業施策・税制を構築し、農産物の供給をはじめとした多面的機能を発揮することは、ＪＡ組合員・役職員に求められている責務であり、地域住民の期待であると確信している。

私たちＪＡはだの組合員・役職員は、これら情勢認識を共有し、組織を挙げて下記事項の実現に取り組むことを決議する。

記

１．実需者ニーズに即した営農・販売への取り組みを核に、ＪＡ営農・経済改革プランを確実に実践すること。

２．都市農業振興基本法の理念を踏まえて具体的施策・税制を確立すること。

2016年５月20日
第53回秦野市農業協同組合通常総会

ＪＡはだの自己改革への挑戦に関する特別決議

私たち、ＪＡはだの組合員は、日本一おいしい水で育てた秦野の農畜産物が「ふるさとの味」「ふるさとの香り」としていつまでも心に残るよう「地産地消」への取り組みをさらに強化します。

全ての組合員が、一日一品以上の地場産農畜産物を食し、地場産の花を家庭に飾ることで、農業者の生産意欲向上による農業振興、生産者と消費者が一体となった食への安全安心追求など、心身ともに健康で明るく豊かな生活をおくることを目的に「ＪＡはだのみんなで地産地消運動」に取り組みます。

正組合員・准組合員がともに運動を実践することで、協同組合の精神が発揮され、ＪＡはだのが自己改革として挑戦する「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を達成します。

また、組合員と役職員が組織を挙げて秦野の農業の魅力を広くＰＲすることで、農業の果たす多様な役割や食の安全安心への関心をさらに高め、基本理念である「夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域できずく」の実現をめざします。

以上、決議する。

2016年５月20日
第53回秦野市農業協同組合通常総会

支所を拠点とした取り組みとは

大根地区　門倉（かどくら）　裕（ゆたか）氏

門倉氏　第２号議案「第四次中期経営計画の設定について」の１．組織及び組織運営改善計画③地域に根ざした協同活動の展開に、「支所を拠点とした協同活動、組合員及び地域住民との関係強化、地域の特色を活かした諸活動への取り組み」とある。

この計画は統治機構を例によるならば、中央集権体制から地方分権体制にゆるやかにシフトすることであるのか。文言が非常に抽象的で、具体的なイメージが湧いてこないので、当局・執行部の見解を問いたい。

山口組合長　ＪＡはだのでは、地域に根差した協同活動を展開するため、３月22日に支所運営委員会を設置しました。

支所と本所が連携した中で、支所を拠点として活動に取り組んでいくといった内容です。

具体的には、本所は運営委員会に関する基本方針の策定や開催支援などを行い、支所はその方針に基づいて支所運営委員会を開催し、地域の特性を生かした中で、さまざまな事業に取り組んでいただきたい。また、支所ならではの新規事業にも取り組んでいただきたい。このような考え方でございます。今後につきましては地域の方とよく話し合いをして、意見を聞きながら地域に合った取り組みをしていくことが重要ではないかと考えているところであります。

協同組合のメリット放棄を懸念

門倉氏「ＪＡはだのは一致するところがあり、今後も十分な話し合いをもって連携し、地域農業を盛り上げていくよう取り組んでいきましょう。

山口組合長　ＪＡはだのでは、地域に根差した協同活動を展開するため、３月22日に支所運営委員会を設置しました。

支所と本所が連携した中で、支所を拠点として活動に取り組んでいくといった内容です。

具体的には、本所は運営委員会に関する基本方針の策定や開催支援などを行い、支所はその方針に基づいて支所運営委員会を開催し、地域の特性を生かした中で、さまざまな事業に取り組んでいただきたい。また、支所ならではの新規事業にも取り組んでいただきたい。このような考え方でございます。今後につきましては地域の方とよく話し合いをして、意見を聞きながら地域に合った取り組みをしていくことが重要ではないかと考えているところであります。

協同組合のメリット放棄を懸念

門倉氏「ＪＡはだのは農業振興の担い手育成を進めていきます。２０６年から開園し、これまでに約５００人が卒業されています。特に、就農コース修了者は現在までで約61人の方が修了され、新規就農者39人が10％の農地を借り受け農業経営をしています。はだの都市農業支援センターを拠点に、しっかりと支援者拡大に努めていきます。

さらに、地域農業の認知度の深化では、市民農園「さわやか農園」を継続していくとともに、平成27年４月に公布された「都市農業振興基本法」への対応として、秦野市とＪＡはだのが、「秦野市都市農地保全活用推進協議会」を通じ、市街化区域内農地における低未利用の農地を活用した体験農園の設置などによる地域農業の認知度拡大を検討しております。

観光農業の振興では、秦野市観光協会との連携をはじめ、農商連携による多彩な収穫体験やオーナー制度などの地域内連携により取り組んでいます。また、全国農協観光協会や旅行業者と連携して、観光資源の活用の再検討と受け入れ体制の再構築に取り組んでいます。

ＪＡはだのの取り組みと青年部のポリシーブッ

歴史に基づいた観光農業を

本町地区　松邨（まつむら）　賀太（よしもと）氏

松邨氏　意見ではなく提案をしてみたいと思います。私はＪＴＢに30年勤めて、国内や国外向けの旅行業務をやっておりました。そこで、今の秦野地域で外国人の誘致を目指したらどうかと提案します。それも文化程度の高い欧米の方々に秦野の観光農業と歴史について誘致したらどうでしょう。

熱心に議案を審議する組合員

東京オリンピックに目がけて国際化の時代の一歩になればということです。

私は、秦野の持っている歴史を掘り起こしたいということで、先月「前田夕暮と秦野」という本を出版しました。また、秦野のタバコ工場周辺で営農経済改革」の３．生産購買事業強化・再構築「ＪＡグリーンはだの」の機能充実とある。

しかしながら、生産資材購買についても、価格面で全農、経済連よりもしによるコスト削減、産購買事業強化・再構築に向けた具体策に、①生産コスト低減対策、営農指導機能発揮によるコスト削減、物流体制の見直

有利であるとして、一般の販売業（商系業者）からの購入を優先されれば、共同購入を否定し、協同組合のメリットを放棄することに成りはしないか。当局・執行部の見解をお聞きしたい。

山口組合長　ＪＡが農業所得の向上に果たす役割として、販売価格の向上と、生産資材価格の抑制の両輪があると認識しており、「生産コストの抑制」には有利な仕入れ先を選定することが不可欠だと考えます。

ＪＡはだのでは、購買事業取扱規定第４条１項に基づき、全農を主要な仕入れ先として、共同購入品目については注文数量を積み上げて価格交渉に当たってきました。

ＪＡ系統・商系業者を問わず、共同購入による注文数の積み上げ、特別重点銘柄の推進など、他のＪＡとの連携をしながら数々の積み上げによって価格の引き下げがメリットとして出れば、と今年度考えております。

いずれにしましても、仕入れが可能な場合については、その内容について、ＪＡの系統に数を集約して価格交渉に当たるということが必要なのか。どうしても今まで、全農オンリーの中でわれわれも認識が不足していた部分がありますが、当ＪＡについても本年度につきましては、仕入れ担当者を明確にしております。情報を収集し、全農を第一の仕入れ先としながら合わせて、情報提供と価格の引き下げができればと考えています。今後とも系統外を頻繁に使うということでなく、仕入れ先の選択肢を増やすことによって「生産コストの抑制」につながればと考えていますので、ご理解していただきたい。

一橋花（きっか）というジェット戦闘機の製造が成功したという本を、今書いていたという。こうした歴史に基づいたレベルの高い観光農業を考えてみたらどうかということです。

山口組合長　大変貴重な意見を頂きました。これからもさまざまな面で情報交換させてもらい、組合の発展のために努力していきたいと思います。

告知板

第30回農薬保管管理コンクール

農薬の正しい取り扱いや保管管理に対する意識向上を目的に、第30回農薬保管管理コンクールを実施します。

◎実施日＝６月20日（月）

◎審査内容＝応募者宅を巡回し、経営状況や農薬の使用状況、散布時の服装などを聞き取りしながら、保管状況を審査します。

◎審査員＝県農業技術センター、市農産課、ＪＡ営農課

◎応募締め切り日＝６月２日（木）までに各支所・支店に申し込んでください。

入賞者には農業まつりで表彰し、記念品を贈ります。また、全員に参加賞を贈ります。

お問い合わせは営農課まで。☎81－7718

生産組合土壌診断

畑や水田の土壌を分析し、適切な施肥管理によって生産性や品質向上を図るため、土壌診断を実施します。

◎土壌（分析サンプル）の回収＝６月26日（日）まで

◎対象作物＝秋野菜、その他

◎分析・診断項目＝水素イオン指数（ｐＨ）、電気伝導度（ＥＣ）、硝酸態窒素、リン酸、カリ、石灰、苦土

◎採土袋＝各支所・支店、営農課で用意しています。袋が足りない場合は封筒での代用も可能です。

◎提出場所＝各支所・支店または営農課

※分析用の土は日陰で乾燥させ、ふるいに掛けてから袋に入れてください。量は、ふるいに掛けた土なら袋半分、掛けていない土は袋いっぱい入れてください。採土した畑や水田の地番の他、氏名、自宅住所も記載してください。

◎結果検討会＝８月上～中旬に本所で開催

お問い合わせは営農課まで。☎81－7718

夏期特別貯蓄運動を展開

今年も夏期特別貯蓄運動を６月15日（水）～７月29日（金）に行います。７月６日（水）～８日（金）の３日間に、一日皆貯金日袋で定期貯金新規50万円以上契約した方を対象に、抽選で秦野産のフルーツを進呈します。

鶴巻支店の貸金庫利用者受け付け中

鶴巻支店では、貸金庫の利用者を受け付けています。通帳や印鑑など、皆さんの大切なものを耐火性の安全・安心な設備でお預かりします。

◎年間利用料＝１万２０００円（消費税別）

◎営業時間＝午前８時30分～午後４時（平日）

お問い合わせは鶴巻支店まで。☎77－0840

生産緑地の追加指定と取得あっせんについて

【追加指定】

平成28年度分の生産緑地地区の追加指定の申し出と要望を受け付けます。追加指定できる農地には条件があるため、希望される方は事前にご相談ください。

◎受付期間＝６月１日（水）～15日（水）（土・日除く）午前８時30分～午後５時15分

◎場所＝秦野市役所西庁舎２階　都市政策課

【取得のあっせん】

秦野市から生産緑地法第13条に基づく、生産緑地のあっせん依頼が次の通りありました＝表。

場所	地目	面積（平方㍍）
鶴巻北一丁目1234番６	山林	2387
鶴巻北一丁目1247番	畑	628
鶴巻北一丁目1248番	畑	515
鶴巻北一丁目1249番１	畑	1558
鶴巻北一丁目1250番	畑	161

生産緑地地区の追加指定の申し出と要望をされる方、農業に従事される方で生産緑地として取得を希望される方は、秦野市都市政策課までご連絡を。☎82－9643

※取得希望の方は６月28日（火）まで。

ホームヘルパーとケアマネ募集

ＪＡはだのケアセンターでは、ホームヘルパーとケアマネジャーを募集しています。働きやすい職場ですので、お気軽にお電話ください。

◇ホームヘルパー

◎業務内容＝訪問介護

◎資格＝訪問介護員２級養成研修課程修了者、要普通免許

◎時給＝１２００円（土日祝の加給あり）※採用３カ月までは時給１０００円

◎時間＝午前８時～午後６時※時間・勤務日は応相談

◎待遇＝制服貸与、交通費規定支給

◇ケアマネジャー

◎資格＝要普通免許、パソコン操作のできる方、実務経験のある方なお可、介護保険認定調査ができる方なお可

◎時給＝１５００円

◎時間＝午前８時30分～午後５時（休憩１時間）

◎勤務＝週３日以上（月に１回土曜出勤あり、日・祝日は休み）

◎待遇＝交通費規定支給、社会保険加入（週４日以上勤務の方）

お問い合わせはＪＡはだのケアセンターまで。☎83－7210

今月の生産者

上大槻の監物（けんもつ）良子（りょうこ）さん

出荷品目　カーネーションを中心に、四季を通して花き類を約５品目

切り花とフラワーアレンジを出荷しています。日持ちが良いと好評で、イベント時に毎年頼んでくれる方がいることも励みになっています。注文が入った際には用途を確認して、お客さまの要望に合ったものを提供できるように心掛けています。

「〝農〟の魅力」伝える作品募集

第12回ＪＡはだの「農〟の魅力」写真コンテストを開催します。テーマは、農業やＪＡの活動を通じた〝ゆとり〟〝やすらぎ〟〝うるおい〟を感じる魅力ある秦野の景観。皆さんの渾身（こんしん）の１枚をお寄せください。お待ちしています。

写真コンテスト

募集期日は２０１６年10月21日（金）まで。入賞作品は「農業まつり」で表彰と展示を行います。詳しくは、組織教育課または各支所・支店までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

じばさんずNEWS

【６月のイベント】

☆「ユースマルシェ」４日（土）
青年部員がカブ、ブロッコリー、小菊、堆肥などを対面販売します。

☆「そら豆フェア」４日（土）、５日（日）
秦野産ソラマメのおいしい食べ方を紹介します。

☆「梅フェア」４日（土）、５日（日）
梅酒用の梅（白加賀など）を、11日（土）と12日（日）には梅干し用の梅（南高など）を販売します。

☆「国産加工豚の日」４日（土）、18日（土）
㈱フリーデンが、国産豚を使用した加工品を対面販売します。

☆「ご当地サイダー」５日（日）
ミカン、富士山サイダー、ゼロカロリー富士山コーラなど、多くの種類を用意します。

☆「おすすめ品フェア」11日（土）、12日（日）
おすすめの乾物などを対面販売します。

☆「らっきょう酢フェア」12日（日）
万能らっきょう酢の使い方・レシピの紹介です。

☆「農村レストラン弁当」14、28日の火曜日
農家のお母さんの手作り弁当です。秦野産野菜がたくさん入っていておいしいです。

☆「じゃが玉祭」19日（日）
秦野産のジャガイモやタマネギを使ったお祭りを開きます。お楽しみに！

☆「父の日フェア」19日（日）
頑張るお父さんへのプレゼントに、秦野産バラのアレンジメントや花束、お酒などはいかがでしょうか？

☆「とうもろこしフェア」25日（土）、26日（日）
新鮮な秦野産トウモロコシを使ったイベントを開きます。

☆「ダブルチャンス」29日（水）
米が店頭価格から10％引き（店頭精米に限ります）、精肉が店頭価格から５％引き（一部商品を除き）になります。

☆「試食の日」毎週火曜日
生産者が出荷している旬の野菜の紹介・レシピを紹介します。

☆「お米の日」毎週水曜日
店頭価格から10％引き。

☆「お肉の日」毎週木曜日
店頭価格から５％引き。

☆営農技術☆　ヒント・ポイント

農業技術センター　0463-58-0333
普及指導部――果樹花き課　果樹（伊藤）
野菜課（江口）
作物加工課　作物（辻本）
農業技術センター足柄地区事務所　0465-83-5111
普及指導課――花き（勝間田）

野菜

ジャガイモの切断面生理障害

６月は、ジャガイモの収穫時期です。収穫した芋の切断面が汚い症状を見かけることがあります。次作に向け、原因と対策を知っておきましょう。

■中心空洞

多肥条件の時、芋の急激な肥大や水分過多で発生します。土壌に残存する肥料成分を考慮して施肥を行うようにしましょう。

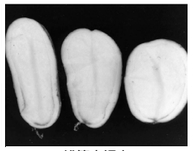
中心空洞

黒色心腐

■黒色心腐

芋の肥大期が高温・多湿で発生しやすくなります。十分な培土を行う か、高温になる前にマルチを剥がしましょう。

褐色心腐



維管束褐変

■褐色心腐

芋の肥大期が高温で、土壌水分不足だと発生しやすく、乾燥時のかん水や、保水性の高い土作りを行いましょう。

■維管束褐変

地上部の病気と関連して発生することが多い症状です。発生している病気を早めに防除するようにしましょう。

なお、中心空洞や褐色心腐は、発生しやすさに品種間差があり、メークイン、キタアカリなどでは発生しにくいですが、男爵ではやや出やすいです。（江口）

【写真提供：ジャガイモ博物館】

組合員の声が改革の芽に

春の座談会（乳牛公会堂）

座談会には、全体で1320人の組合員が出席し、626件の意見・要望が寄せられました。営農経済改革の内容や農協法改正による影響などについて多くの質問および意見が寄せられました。

これらの意見・要望は、担当部署や担当部会で検討を重ね、さらに理事会で協議しました。ここに主なものを報告します。

組合員の皆さまから寄せられた意見・要望を今後のJAはだのの運営に反映させ、さらに発展させるように役立てていきます。

※意見＝組合員からの意見です

対応＝意見要望に対するJAの対応です

春の座談会出席状況

2016年4月7日（木）～20日（水）

地区名	出席人数（うち女性）	意見・要望
大根	156（69）	99
本町	125（52）	79
東	173（57）	87
南	203（62）	84
北	158（51）	91
西	301（110）	129
上	123（69）	47
本所	81（42）	10
合計	1,320（452）	626

営農

TACを配置し体制整備

意見 営農経済改革について、営農指導体制の強化とあるがどういうことか。（大根・南・西）

対応 第二次地域農業振興計画の目標達成に向けた取り組みを強化・加速化することを目的に重要事項を整理した、営農経済改革を策定しました。

具体的には、営農指導員の確保と体制整備、指導員の育成と資質向上、情報収集と情報発信の強化をするために、3人のTACを新たに配置し、営農指導体制の整備を進めてまいります。

意見 TAC3人が配置されたが専任なのか。また、TACはどのような活動をするのか。訪問先は、どのように選定するのか。3人で市内全体を網羅できるのか。（大根・東・南・北・西・上）

対応 TACは、専任の担当者として配置しましたが、一部の部会や販売関係を受け持ちます。

基本的な活動は、農家への情報発信と、農家から収集した情報を共有することにより、対策や改善に取り組む他、業務に必要な資格取得を進め、将来的な営農指導に資する活動を展開していきます。

当面の訪問先は、市内認定農業者や農業後継者、はだのじばさんずの販売高が一定額以上の出荷者です。職員配置の問題もあり、当面は3人体制で対応いたします。

意見 地域農業振興基金を毎年積み立てているが、せっかくの資金なので良い方向への活用をお願いしたい。（大根）

対応 当該基金の要領に定めがありますが、基金積立金の運用益を利用した中で、要領に沿った活用を実施してきました。

このたび、この要領を一部改正し、使途や支出基準の見直しを行いましたので、当該基金を活用して農業振興や販売力の強化など、有効活用に努めます。

意見 振興作物としてニンジンの生産に取り組んでいるが、出荷先はどこか。また、評判はどうか。（本町・東）

対応 2年前からアロマレッド種のニンジンを栽培し、全農中央ベジフルセンターに出荷し、県内Aコープ店舗で販売しています。ジュースやサラダにも使え、評判は上々です。なお、品質にばらつきがあるため、品質向上に努めています。さらに販路の拡大および安定供給を目指し、栽培面積の拡大も図っていきます。

意見 営農経済改革の資材コストの削減とあるが農薬・資材などがホームセンターやネット通販と比べて高い。仕入れ先の問題を検討しメーカー直接対応など、安く仕入れる方法を強化してほしい。（全地区）

対応 JAでは、予約価格、当用価格の2本立てにより、通年安定供給を目指した価格設定を行うとともに、定期的にホームセンターの販売価格を把握し、全農などと価格交渉を行い適正価格での供給に努めています。

今後は、営農経済改革でも示した通り、仕入れ先を全農だけに限定せず柔軟な対応をし、生産者のコスト低減に向けた取り組みを進めていきます。

意見 JAで農機具の修理をした場合、正組合員と准組合員に違いはあるのか。また、他店で購入したものは修理できないのか。（東・南・西）

対応 正組合員、准組合員の違いはありません。料金については、JAはだの整備修理利用料金で定めている基準に従い、請求させていただくこととなります。

他店購入品の修理は、修理可能な場合は対応いたしますが、部品調達ができず修理できない場合もありますので、ご理解をお願いします。

農家を訪問するTAC担当者

JAはだの

発行所
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
編集兼発行者 宮永 均

JAはだの
R70
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

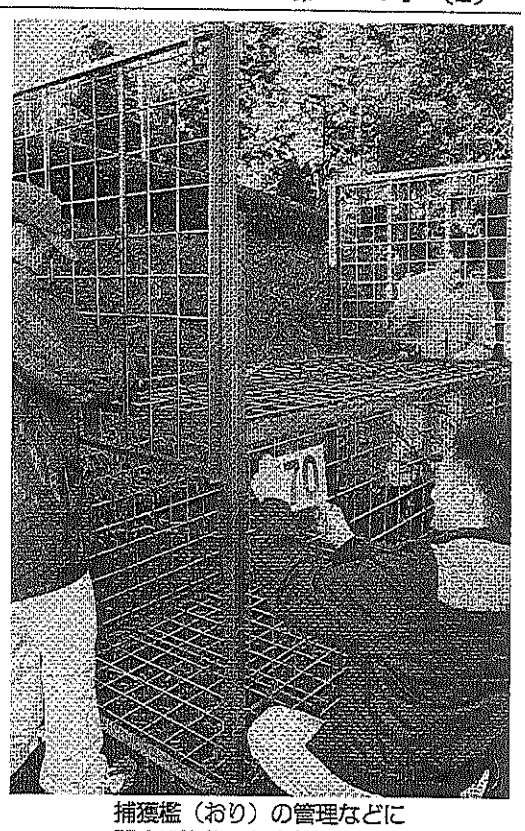
目次

1面…営農関係
2面…はだの都市農業支援センター・生活福祉・経済・店舗販売関係
3面…信用・共済・融資・改革推進関係
4面…総務・企画・組織教育関係

女性部総会で部員増加の目標を再確認

はだの都市農業支援センター

罠猟免許の取得費用を補助


捕獲檻（おり）の管理などに関する資格取得を補助

意見 個人で鳥獣被害対策を行うには資金面でも厳しい。猟友会への補助も必要なのでは。有資格者が減ってこの先心配だ。（東・北）

対応 JAでは市への予算要望を行い、県罠猟免許の資格者養成のため、事前講習会の費用ならびに受験料の一部助成をしております。多くの方が今後も資格を取得できるよう啓発に努めます。猟友会への補助金は、JAはだのが市の助成を受け、JAが一部補填して支出しています。猟友会メンバーの高齢化・後継者不足は農業同様に深刻な問題として捉えています。

生活福祉

女性部1000人目標に運動展開

意見 女性部では良い活動をしているが、高齢化に伴い、部員が減少している。若い方の加入をお願いしたい。（東・北）

対応 現在1000人を目標に仲間づくり運動を展開しており、若い方も参加できる活動を企画しています。未加入のお知り合いの方に声掛けをしていただくようお願いします。

意見 加工品の規定が年々厳しいので出荷しづらい。（大根・西）

対応 食品加工品による食品衛生上の問題が他市で起きているので、年々公的機関が規定を厳しくしています。JAは加工所をこれから設置する方のための研修会「農産加工起業セミナー」や、県と市との共催により公開加工セミナーを開催し、衛生に関することや表示の仕方などの研修会を開催していますのでご参加ください。また、農産加工に関しては、生活福祉課へお気軽にご相談ください。

意見 ケアセンターの利用者数が減っているが、原因はあるのか。（本町・東・南・北）

対応 市内に訪問介護事業所がたくさんあることや、居宅介護支援員（ケアマネジャー）と訪問介護員（ヘルパー）の不足により利用者を受け入れられないことが原因です。臨時職員の募集を継続して行いながら、今まで以上に親しみやすいケアセンターづくりに努めてまいります。

店舗販売

販売力強化で所得向上を目指す

さまざまな農産物が人気のはだのじばさんず

意見 営農経済改革の中で農家の所得増大を目指すとあるが、はだのじばさんずにおける買い取り販売とは、どのような取り組みを行うのか。はだのじばさんずへ出荷しても売り場は同じ野菜が溢れていて、売れ残れば結局廃棄することになり農家の生産意欲がなくなる。（大根・東・南・西）

対応 はだのじばさんずでは、農家の経営形態に合った少量多品目な農産物の販売を前提として事業を進めてきましたが、近年では専業農家の出荷量も多くなり、同一品目の供給過剰が発生しています。また、従来から午後の商品不足が課題となっています。これらの対策と端境期の有利販売を目的として、新たに予冷庫を導入し買い取り販売を実施することになりました。買い取り販売に当たっての対象者、出荷規格、価格などの具体的な内容については、今後、検討を進めていきます。

意見 秦野市のはだのふるさと納税制度について、秦野の農産物をPRするために行政と連携した取り組みをJAとしても行ったらどうか。（東・南）

対応 はだのじばさんずでは、市との連携で、ふるさと納税制度を活用した新鮮・安全・安心な農畜産物を全国にPRしていきたいと考えています。現在は秦野産野菜セットや冷凍ゆで落花生「うでピー」などの取り扱いができるか、検討を進めていきます。

意見 はだのじばさんずの利用状況で昨年と取扱高が減っているのはなぜか。（本町・東・南・北・西）

対応 昨年は暖冬による異常気象により農作物の収穫が早まり、特に年末年始にかけて、重量野菜であるハクサイ、ダイコンなどが豊作のため価格の暴落を招きました。これにより本来の直売所の強みである量販店との価格や品質間格差が強調されずに販売高が減少したと考えられます。

意見 加工用のバーコードラベルが大きくて不便である。また、加工用のバーコード発券機が増やせないのか。（本町）

対応 生鮮食品品質表示基準により「容器又は包装に印刷する表示に用いる文字は日本工業規格に規定する8ポイントの活字以上の大きさで表示すること」が、原則義務付けられておりますのでご理解ください。また、加工用発券機の増設は現在のところ考えておりません。

経済

多様化する葬儀形態に対応

意見 組合員の高齢化が進んでおり、地域によっては、はだのじばさんずに買い物に行くのに車の運転ができず不便なので、以前のように移動購買車をぜひ検討してほしい。（西・上）

対応 以前のような移動購買車「のんちゃん号」と同様なものは経費面などを考えると難しいと思いますが、いろいろな手法を視野に入れ店舗販売課と連携し前向きに検討します。

意見 女性部の共同購入の品物が、目新しいものがないようだ。また、チラシなども無駄になっているように思えるので、PR方法も考えたらどうか。（西）

対応 毎月、全農と経済課で商品内容の検討をしています。2カ月ごとに大地のレシピの1面は季節感のあるものを取り入れています。チラシについても、商品名や規格だけでは分かりにくいとの要望があり、入れさせていただきましたのでご理解ください。

また、5月と6月に、はだのじばさんずと連携し、市内の加工品「おろし好き」「八重桜の桜ポン酢」「桜塩」も扱いますのでご賞味ください。今後も、安全安心なAコープ商品などを供給していきますのでご利用ください。

意見 プロパンガス会社の営業が来て、JAより安く供給すると勧誘している。（東・南）

対応 全農では県下全域にガスモニター制度を設け、価格調査を実施しております。JAはだのは5月の検針より1立方当たり30円価格を下げました。その結果、安売り業者を除けばガス代金は平均的な価格より若干安めです。

JAは神奈川県LPガス北相支部秦野部会に加盟しており、市内24業者の会議にも出席して情報交換も行っています。訪問した業者は協会に加盟しておらず、最初は安価な金額で契約し数カ月後には、基本料金から値上げし供給価格も高くなったとの事例もあります。悪質な業者は契約時には○○ガスとなっていますが、口座振替用紙には、別会社の○○商事の申込用紙の提出を求めメーターの転売を目的に契約するブローカーもありますのでご注意ください。

JAセレモニーホールはだの内覧会

意見 JAセレモニーホールはだのでは、家族葬や小規模葬も扱うのか、また、家族葬としての取扱件数は。（本町・本所）

対応 昨年度施行件数232件の内、家族葬・小規模葬の取り扱いは25件と全体の約11%でした。今後も、利用者の要望と多様化する葬儀形態に対応した相談を心掛け、サービスの向上を図っていきます。

信用

金利0・55%の「年金定積」登場

意見 日銀のマイナス金利導入の影響はあるのか。(大根・東・南・西)

対応 日銀のマイナス金利導入に伴う市場金利の低下の影響によりJAの貯金金利も低下しています。資金運用の面でも金利低下の影響により、収支の下押し要因となる可能性があるものと考えます。今後の特別貯蓄運動やキャンペーンでは、農業に関連したJAらしい特典を提供していきますので、ぜひご利用ください。

意見 セブン銀行のATMを利用する場合、利用制限はあるのか。また、キャッシュカードの利用手数料は掛かるのか。(北)

対応 午前8時から午後9時までのご利用時間のうち、入金・出金については、平日は、午前8時45分から午後6時まで、土曜日は、午前9時から午後2時までの時間帯は手数料が無料です。その他の時間帯や日曜・祝日および12月31日～1月2日は、108円(消費税など含む)の手数料が掛かります。残高照会は無料です。一度に入金または出金できる紙幣枚数は50枚までです。なお、通帳によるお取り引き、現金振り込み、硬貨のお取り扱い、一部入金(おつりが必要なお預け入れ)、両替えの取り扱いはできません。セブン銀行以外のコンビニATM(イーネット、ローソン)でも同一利用時間帯、同一手数料でお取り扱いしています。

意見 4月から新しく始まった優遇金利0・55%の年金定期積金「GoGoシニア!!」の契約条件や限度額などについて教えてほしい。また、支所に行かないと契約できないのか。(大根・西・上)

対応 ご利用いただける方は、次の①、②の両方を満たされる方です。

①契約される店舗で既に公的年金をお受け取りの方、または、公的年金の裁定請求開始日までが1年以内で、契約される店舗に受取口座を指定される方

②公共料金のいずれかを既に口座振替されているか新たに口座振替される方、または、公共料金のいずれかを既にJAカード「一体型」で支払っているか新たに契約するJAカード「一体型」で支払われる方(②は、同一世帯の方を含む)

なお、お一人さま1契約限りで、1回の払込金額は1万円以上3万円以内、契約期間は12カ月以上36カ月以内です。

ご契約は、渉外担当職員による訪問対応もいたしますのでお申し出ください。

意見 JAでは、年金の受給手続きを手伝ってくれると聞いたがどうしたら良いか。(大根)

対応 本所には、年金担当の専門職員が2人、支所(店)には渉外担当・窓口担当の職員もおります。専門職員、渉外担当職員が平日にご自宅を訪問し、ご相談・手続きのお手伝いをさせていただいていますので、お気軽にご連絡ください。また、年金無料相談会を日曜日を含めて年間で19回開催しています。社会保険労務士と専門職員がご相談に応じますので、ご連絡の上、お気軽に来所ください。

新しい優遇金利の年金定期積金

融資

低金利な「農機ハウスローン」

意見 事業資金などの借り換えに関し、JAとして前向きに取り組んでいるのか。(大根)

対応 事業資金や住宅ローンなどの借り換えについて訪問活動や相談会などを通じて積極的に取り組んでおります。また、事業資金については、JAの総合力を生かし、資産管理部門と連携し支所支店と情報共有を図り、対面活動による適切な提案に努めています。

意見 農業資金の借り入れで0%金利があるのか。(西)

対応 公庫資金・県資金の中には利子補給により実質0%になる資金があります。いずれの資金も借入資格、資金使途など一定の条件があり手続きに時間を要します。JAでは独自の利子補給制度や保証料助成制度の適用により、低金利でスピーディーな「農機ハウスローン」と設備資金から運転資金まで幅広いニーズに対応できる「アグリマイティ資金」もおすすめしています。

共済

建物更生共済は地震にも対応

意見 建物更生共済の仕組みは変わっているのか。(本町)

対応 自然災害時の保障対象となる損害額が、平成16年3月以前契約の建更「まもり」が20万円以上であるのに対し、平成16年4月以降契約の建更「むてき」では5万円以上となった点など、保障内容が大幅に良くなっています。それ以降の仕組みの変更はございません。

意見 建物更生共済は地震にも対応しているのか。(本町)

対応 建物更生共済は、火災はもちろん地震にも備えられる共済です。ただし、地震の場合は火災共済金額の50%が共済金支払いの限度ですので、家財を対象とした建更にも加入することでより充実した保障が得られるため、おすすめしています。

意見 自動車共済の掛け金が他社と比較すると高い。(大根)

対応 代理店型の自動車保険と同条件で比較すればJAの方が安くなる場合が多いです。通販型の自動車保険との比較でも、同条件なら掛け金額に大きな差はありません。また、自賠責セット割引などJA独自の割引もありますのでぜひご利用ください。

改革推進

農協法改正による影響とは

意見 農協法の改正によってJAや組合員への影響はあるのか。(北)

対応 准組合員の利用制限とは何か。

農協法改正で准組合員に対する問題点とは。2分の1とは組合員数のことなのか。

准組合員の数を減らすといわれているが、准組合員の貯金を返したりするのか。

将来正組合員が減少する中で、農業者のためのJAとして准組合員に頼らないようにすべきと思う。

准組合員の規制を受けないようにする方法はないのか。(全地区)

対応 JAは、農業所得の増大に最大限配慮しなければならないとなりました。また、的確な事業活動で高い収益性を実現し、農業者などへ事業分量配当などに努めることを求められています。この他に理事構成の規定や公認会計士監査の義務付けなど、大きな法改正となっています。

組合員への影響は、今回の改正では見送られましたが、准組合員の利用制限の在り方について5年間で調査が行われ、検討を加え結論が出されることになりました。准組合員の利用制限は、政府の規制改革会議が准組合員の事業利用を正組合員の2分の1に制限することを求めたことから検討が始まりました。

JAはだのように准組合員が多いJAについては、特に金融共済事業の収支に大きな影響があり、経営上大きな問題となります。制限されないよう自己改革を実現するとともに、しっかりと運動をしていきます。

特に正組合員の増加運動や准組合員が地域農業の振興に消費者として大きな役割を果たしていることを証明する取り組みを行う他、地域のインフラとしてJAが必要であることを広く伝えていただきたいと考えています。なお、准組合員数を減らすことは求められていません。

意見 農協改革に対する方針や基本的な考え方は何か。(北)

対応 「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」として、総合事業の展開により「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に全力を尽くします。

意見 退職するまではJAという組織を知らなかったが、行事などへの参加や、事業を利用するようになって大変良い組織だと感じている。農協改革でいろいろ大変だと思うが頑張ってほしい。応援している。(西)

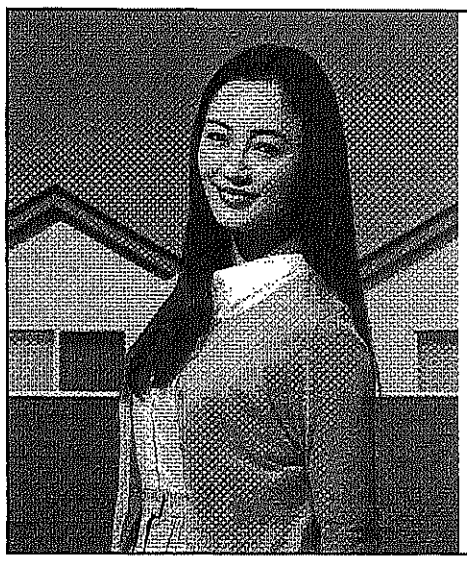
対応 ありがとうございます。今後も、組合員そして地域のために相互扶助の精神で協同組合運動にしっかりと取り組んでまいります。共に頑張りましょう。

意見 新東名高速道路のサービスエリアは完成したのか。(南)

サービスエリア内に直売所や農家レストランを出店する計画はどうなったのか。(南・北)

対応 平成32年が開通となっていますので、まだできていません。

直売所などについては、JAと秦野市、商工会議所と話し合いを行っていますが、開通の3年前にならないと具体的な話ができない状況です。サービスエリア内に出店する場合、24時間営業や賃料が高いなど課題が多いため、スマートインターチェンジを利用し、周辺に直売所や農業の拠点、観光農業施設などの設置を検討しています。



火災、台風、地震まで。
家の安心を、これひとつで。

建物更生共済
むてき

くらしの保障、相談するなら
JA共済

●ご加入にあたりましては、お近くのJA(農協)へお問い合わせください。
■JA共済ホームページアドレス
http://www.ja-kyosai.or.jp

16481050136

入間ツイ号機 (NZDTPU99) 2016年5月24日 11時28分 組版番号機 (NZDTPU99) 5月25日・はだの2・

企画

理事の選出方法を検討へ

意見 農協法改正により、理事の過半数を「認定農業者」にしなければならないとあるが、今後の役員の改選はどうなるのか。また、現在の理事の数を見直すなど役員体制について、検討しているのか。(大根・本町・東・南・上)

対応 農協法改正では、理事の過半数は「認定農業者」もしくは「農畜産物の販売やその他の事業又は経営に関し実践的な能力を有する者」としなければならないとされ、平成30年の役員改選は、今回の改正で定められた構成要件で役員を選出することになります。

秦野市の認定農業者数は現在86人、正組合員数の約3%であり、今後、認定農業者だけで理事定数の過半とすることは難しいため、「実践的な能力を有する者」や特例である「認定農業者に準ずる者」を含めた選出方法や対応できる定数などの詳細を調査・研究するプロジェクトチームを設置し、その内容を基に組織問題審議会で選出方法や定数などを検討してまいります。

窓口に熊本支援募金箱を設置

意見 各事業の取扱高は減少しているのに剰余金が前年より多いのはなぜか。(大根・南・西・上)

対応 前年度は旧鶴巻支店の土地売却による処分損が特別損失として計上されておりました。さらに、本年度は連合会からの奨励金や配当が前年度より増加したため、剰余金が増えております。

意見 今回、機構改革を行ったようだが、どのような内容なのか。(東)

対応 今回の機構改革は、営農経済改革をさらに推し進め、よりきめ細かい対応ができるように、営農経済部を営農部門と経済部門に分離するとともに、自己改革の進捗管理や行政対応を行うため、改革推進室を新設いたしました。さらに支所の事務管理体制を整備するとともに、TACの新配置など、営農部門を強化いたしました。

意見 熊本県の大地震について、JAはだのでは義援金などの支援をするのか。(南)

対応 各支所・支店に募金箱を設置する他、役職員から義援金を募り、中央会を通じて被災地を支援していきます。

また、人的支援として中央会から参加依頼があり、5人の職員を派遣する予定でしたが、今回は人員調整で見送られました。今後も人的・物的要請に基づき、支援対応していきます。

組織教育

支所運営委員会で活動強化

意見 毎年JAからカレンダーを頂くが、今年のカレンダーは形が変わり、上部の穴が開いている部分の紙質が薄いため、落ちてしまったり、上部がよれてしまったりして使いにくい。また、今年の1年分の一覧も無い。変更した理由は何か。(大根・本町・南・北・西・上)

対応 生産組合長・内部役員から重くかさばるため配布しにくいとの要望があり、昨年までの13枚から7枚つづりに変更し、軽量化を図りました。今回のご意見・ご要望をできる限り踏まえて、使いやすいカレンダーに改善していきます。

意見 支所運営委員会について説明してほしい。(目的、構成員、活動事例など)(全地区)

《他の意見》

支所運営委員会の設置が決まり大いに期待する。

生産組合が機能しなくなったときを、JAはどう考えているのか。(大根)

QRコードを読み取り、空メール送信で登録画面へ

生産組合長会議と一緒で一方通行になってしまうのではないか。座談会のように形式的でない形の方が正直な意見が出ると思う。(本町)

8割程度が准組合員であり、面倒なことはやりたくない人も増えている。やる意味があるのか。支所運営委員会の構成員に、認定農業者も入らなければ、あまり意味を感じない。(東)

支所運営委員会の活動内容は、今までもやってきていることであり、設置する必要性を感じない。(北)

組合員が高齢化する中で、支所で活動していくのは難しいと思う。(西)

対応 支所運営委員会は、支所がこれまで以上に組合員組織および地域と連携し、組合員や地域住民の意見を反映して、地域の特性を生かした協同活動を展開していく組織です。設置目的は、組合員組織活動の活性化、組合員組織間およびJAと地域の連携強化、組織活動全般に係る課題の検討など、支所を拠点とした地域に根差した協同活動の強化が目的です。

構成員は、非常勤理事・監事、生産組合、女性部、青年部、准組合員、その他委員会が必要と認めた組合員から構成され、支所の職員は事務局となります。活動事例としては、支所まつりや各種スポーツ大会、お茶飲み交流会などです。地域の方と話し合い、意見を聞いた中で、地域に合った取り組みを行っていくことが重要であると考えています。

意見 TPP(環太平洋連携協定)交渉の情勢はどうなっているのか。また、JAは政府に抗議しているのか。(北・西)

対応 平成27年10月5日、TPP交渉は参加12カ国の政府間で大筋合意に達しました。今は、批准のための国会審議をしている段階です。JAグループとしては、日本がTPP交渉に参加して以降、政府への意見書の送付、官邸および関係閣僚への要請など交渉を担う政府に対して、国会決議の実現を徹底して求める運動を展開してきました。今後も情報収集を行い、必要に応じて、政府・与党への働き掛けを行っていきます。

意見 メール情報配信サービスをリニューアルしたと座談会特集号に書いてあるが、どのように変わったのか。また、どのような情報を配信しているのか。(東・北)

対応 今まではメールアドレスを手書きで提出してもらい、登録していましたが、4月1日からはウェブ上で登録できるようになりました。また、配信内容については、月2回のメールマガジン、営農・ガソリン情報、じばさんず情報、セレモニーホール情報、デイサービス・ケアセンター情報、女性部情報が配信されます。

総務

正組合員の加入を勧める

意見 正組合員数が減少している理由は。正組合員が減り准組合員が増えているが、将来的にJAはどのように考えているのか。(東・北・西)

対応 正組合員世帯は、後継者などを含めて複数加入をすすめています。特に正組合員の高齢化が進む中で、相続や正組合員の資格要件を満たさなくなった方の資格変更などで減少しています。

今後、正組合員資格のある方に加入・資格変更などをしていただくよう運動していく考えです。

意見 本町支所の事務所建て替え計画の状況はどうか。新事務所は2階建てを計画しているとのことだが、立地条件が良いことから3階建てなど有効活用ができる建物として工夫し、街中にあるので良い建物のデザインを考えていただきたい。

また、新事務所のカウンターは広くし、事業ごとに分けてほしい。(本町)

対応 昨年、本町支所事務所等建設委員会を設置し、2017年度に着工する計画となっています。駅近の立地を生かし、組合員が有効利用できる機能や設備を備えた店舗となるよう検討しています。事務所内の間取りや外観のデザインなどは、全農の一級建築士事務所に依頼する予定ですが、より良い形となるよう検討していきます。

意見 農業団地センターのトイレが和式で不便であり、洋式トイレへの変更をしていただきたい。また、西給油所のトイレも和式で不便であるため、洋式へ変更を考えていただきたい。(東・西)

対応 本年度の計画で農業団地センターのトイレについては、全て洋式化いたします。西給油所については現状でご理解ください。

正組合員資格

組合員資格をご確認ください。

【正組合員資格】

- 耕作面積が10㌃以上で農業を営む個人
- 1年のうち90日以上農業に従事する個人
- 成鶏200羽以上、成牛5頭以上、豚50頭以上のいずれかを常時飼育、または養蚕30㌔以上育てる個人。もしくは、温室100平方㍍以上を経営する個人

【法人正組合員資格】

- 農業を営む法人で、事務所または経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

ご不明な点がありましたら、各支所・支店にお問い合わせください。